

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通ネットワーク計画に基づく事業・平成24年度事業分)

平成24年4月13日

協議会・構成員 福井市、福井県、福井運輸支局、
 事業者5社、福井県警察、
 学識経験者1名、利用者代表6名、
 県バス協会、県交通労働組合代表

事業名	補助対象事業者等	事業概要	①事業実施の適切性	②目標・効果達成状況	③事業の今後の改善点
陸上交通に係る 地域公共交通確保維持事業 (地域内フィーダー系統)	福井交通株式会社・鷹巣・棗線	市北西部の鷹巣地区浜住町から、交通空白・不便地域である白方町等を経由して福井温泉病院に至る路線(路線定期運行)	A 計画どおり事業は適切に実施される見込み	B 白方町や石橋町等の公共交通空白・不便地域の解消が図られた。運行1回あたりの利用目標10.7人に対し、2.5人程度にとどまる見込み。収支率についても23.0%に対し5%程度にとどまる見込み。交通空白地域の利用者を中心に、想定を大幅に下回ったため。	利用者の意向等を調査し、地域とも十分に協議しながら、デマンド型運行への変更の可能性についても検討する。
	京福バス株式会社・酒生いきいきバス東郷ルート	市街地の東に位置する酒生地域(農山漁村地域)において、公共交通不便地域である高尾町の住宅団地を起点に、既存集落を経由してJR越前東郷駅や済生会病院、東部プラザ(スーパー)に至る路線(路線定期運行)	A 計画どおり事業は適切に実施される見込み	B 斜面住宅団地や公共交通空白・不便集落において、交通弱者の移動手段を確保できた。目標7.7人/回に対し3.0人にとどまる見込み。収支率についても24.0%に対し、10%程度にとどまる見込み。交通空白地域外の集落等からの想定を大幅に下回ったこと、午後の利用(主に買物目的)が想定を大幅に下回ったこと、(冬季の中学生以外は)JR越前東郷駅周辺への移動ニーズがほとんどないため。	地区内だけでなく、地区外からの利用者を取り込むため、当該地区の歴史や遺跡を活用したイベント等を通じてバスのPRと利用促進を図っていく。
	京福バス株式会社・酒生いきいきバス北郷ルート		A 計画どおり事業は適切に実施される見込み		
	京福バス株式会社・酒生いきいきバス南郷ルート		A 計画どおり事業は適切に実施される見込み		
	京福バス株式会社・鷺山バス南北ルート	市北西部の鷺山地域において、既存集落を経由し宮ノ下地区の商業施設や大安寺地区の温泉施設、病院等に至る路線(路線定期運行)	A 計額どおり事業は適切に実施される見込み	B 公共交通空白・不便地域の解消が図られた。目標9.2人/回に対し、3.3人程度にとどまる見込み。収支率も23.0%に対し、5%程度にとどまる見込み。高齢者を中心に、クルマ利用からの転換が十分に図られていないため。	平成24年4月から、買物の利便性向上のため、バス停位置及びダイヤの見直しを行った。今後は、沿線の商業店舗等と連携し、利用促進や待合環境の整備等に取り組んでいく。
	京福バス株式会社・鷺山バス東西ルート	A 計画どおり事業は適切に実施される見込み			
	光タクシー有限会社・殿下地域コミュニティバス地区外ルート	市南西部の殿下地区(中山間地域)の谷あいの集落から、地区の中心部を経由して清水地域拠点(大規模商業店舗を核とした日常生活拠点)に至る路線(区域運行)	A 計画どおり事業は適切に実施される見込み	B これまで路線バスが利用できなかった7箇所の既存集落(公共交通空白地域)において、高齢者等交通弱者の移動手段を確保することができた。	沿線の温泉施設の協力を得ながらバス利用者限定で施設利用料の割引等を実施し、殿下地域住民をはじめ、他地域から当該施設を利用する者を取り込むことによって利用者の拡大を図っていく。
	光タクシー有限会社・殿下地域コミュニティバス上町内ルート		A 計画どおり事業は適切に実施される見込み(利用実績等を踏まえた地域住民の協議に基づき、4月以降、地区外ルートに統合)	B 目標3.0人/回に対し4.8人程度と目標を達成できる見込み。一方、収支率は15%に対し、8%程度にとどまる見込み。地区内の移動が当初の想定を大幅に下回ったため。	
	光タクシー有限会社・殿下地域コミュニティバス下町内ルート		A 計画どおり事業は適切に実施される見込み(利用実績等を踏まえた地域住民の協議に基づき、4月以降、地区外ルートに統合)	B	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通ネットワーク計画に基づく事業・平成24年度事業分)

平成24年4月13日

協議会・構成員 福井市、福井県、福井運輸支局、
事業者5社、福井県警察、
学識経験者1名、利用者代表6名、
県バス協会、県交通労働組合代表

事業名	補助対象事業者等	事業概要	①事業実施の適切性	②目標・効果達成状況	③事業の今後の改善点
陸上交通に係る 地域公共交通確保維持事業 (地域内フィーダー系統)	福井鉄道株式会社・ 青葉台ルート	福井鉄道福武線の 浅水駅前を起点に、 斜面住宅団地の青 葉台や江尻ヶ丘、 スーパー等を経由す る循環路線(路線定 期運行)	A 計画どおり事業は適切に実施される 見込み	B 公共交通空白地域であった青葉台 や江尻ヶ丘等の斜面住宅団地にお いて交通弱者の移動手段を確保す ることができた。 目標9,500人/年(H24年度は運行日 数で按分し8,358人)に対し、約68%・ 5,700人程度にとどまる見込み。収支 率20%の目標に対し14%程度にとど まる見込み。9:30と12:00の便が他の 便と比べて利用が低調であったため。	利用者の移動ニーズ等を調査しながら、 利用が少ない便のダイヤを調整する。鉄 道等のお得な切符のPRにより、地域間 交通と乗り継ぎ形での利用を推奨する。
	福井鉄道株式会社・ 江尻ヶ丘ルート		A 計画どおり事業は適切に実施される 見込み		

【各評価項目の評価基準】

①事業実施の適切性

- A…事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された(されている)。
- B…事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった(一部実施されない見込み)。
- C…事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった(実施されない見込み)。

②目標・効果達成状況

- A…事業が計画に位置付けられた目標を達成した(する見込み)。
- B…事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった(一部達成できない見込み)。
- C…事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった(達成できない見込み)。